

委員会レポート

総務建設産業委員会

総務課・まちづくり課・ふるさと応援課・税務課・都市整備課・地域振興課・上下水道課・会計課に属する事項/その他の委員会に属しない事項



総務建設産業委員会は、今回の改選を踏まえ、新たなメンバー6名で新体制を組みました。当委員会は、町政を進めるうえで、幅広い事務を所管しています。住民の皆さまが快適な生活を送れる施策、活力あるまちづくりのためにインフラの整備や、さまざまな企画・制度作り等重要な議案に加え、須恵町全体に属する議案を審査していきます。

須恵町では、住み続けたいと思える住環境や緑の中で安らぎを感じる公園・緑地の整備、幹線道路となつている県道筑紫野古賀線の拡幅工事における渋滞緩和対策の推進等の諸課題があり、しっかりと舵取りが求められます。

総務建設産業委員会の各委員が見識を高め、町民の皆さまの期待に応えられるよう研鑽してまいります。

委員長 猪谷 繁幸

委員会レポート

文教厚生委員会

学校教育課・子育て支援課・社会教育課・住民課・福祉課・健康増進課に属する事項



文教厚生委員会は、今回の改選により、2人の新人を加えた6人で、新たなスタートをきりました。

当委員会は、主に福祉・健康・医療・教育を中心に審査を行います。

全国で、少子高齢化・人口減少が叫ばれる中、須恵町は、全国有数の長寿の町であり、人口・子どもの数も増加しています。

コロナも5類に移行し、コロナ禍からアフターコロナを経て、日常を取り戻す、と変化をしています。これまでの経験を生かし、広範多岐にわたり専門化している政策を審議・審査するため、今まで以上に身を引き締めて取り組みます。

これからも、町民皆さまの期待に応えられるように各委員が自分の役割を果たし、一致団結して活動していく決意です。

委員長 今村 桂子



6月25日に行われる第63回須恵町ポンプ操法大会に向けて、訓練に励む須恵町消防団を激励に行きました。今年度は、町大会のみで、上位大会はありませんが、大会を10日後に控え、気合の入った操法を拝見しました。我が須恵町消防団の操法が高いレベルであるということもうなずけます。

訓練中はケガなどされませんよう健康に留意しながら、当日は訓練の成果を遺憾なく発揮され、悔いの残らない大会にしてください。



たいものです。

最後に、町民の生命と財産を守るため、日夜活躍されている消防団員の皆さまに深く感謝申し上げます。

特別委員会レポート

脱炭素推進調査特別委員会

カーボンニュートラルを目指して

脱炭素推進調査特別委員会は、令和4年3月に須恵町が宣言した「ゼロカーボンシティすえ」の推進および調査をするために設置されました。1回目の調査を7月3日(月)に行いました。

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 白水 春夫 | 委員 | 百田 輝子 |
| 副委員長 | 三上 政義 | 委員 | 猪谷 繁幸 |
| | | 委員 | 田ノ上 真 |

はじめに

須恵町は令和4年第1回須恵町議会定例会において2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティすえ」を宣言しました。

須恵町の取り組みは

現状と目標について意見交換を行いました。

① 須恵町地球温暖化対策実行計画「事務事業編」は、須恵町役場が管理する各施設・施策などに関する対策です。2013年度を基準として、本年度から2030年度までに51%を削減します。

② 同計画「区域施策編」は、須恵町の町域全体に関する対策です。企業部門、家庭部門も含めるため、町内の理解が欠かせません。2013年度

調査を終えて

を基準とし、2030年度までに46%削減します。2050年度の目標達成には、追加的対策も含め、将来的な検討が必要となります。

③ 国が公募の「脱炭素先行地域」選定を目指しての取り組み。民間事業者との連携を持って地域の独自性を活かした提案に対して、国がお墨付きを与えます。先行事例を見ても、ハードルが高いことがわかります。

「カーボンニュートラル」は大変な難事業です。とりわけ、町民や事業者の理解と努力なしには到底達成できない現実があります。

須恵町議会としても、行政と連携を持ってこの難事業にあたりたいと思います。

